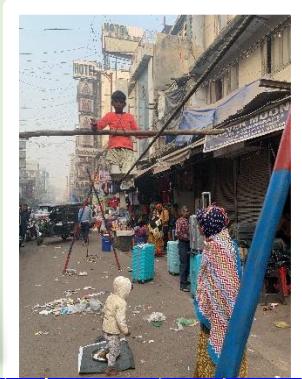


インド珍道中の旅（一灯苑の法話会より 第二話）
昨年、12月16日から26日迄、インドの「ブッダガヤ」へ向けての旅のお話をします。

お釈迦様への「恩返しの旅」が最初に教えてくれたのは「急激な国の発展は大気汚染をもたらす事」を教えてくれました。次に心を痛めたのは「格差社会」の原因である「カースト制度」の現実でした。憲法では禁止されているにも関わらず「カースト制度」が今なお、インド社会を支配しています。最下層の人たちは仕事が無く、貧困に苦しんでいます。駅を降りるたびに「バッグは前に抱いて」と注意を受けた理由は「泥棒・スリ」が多発しているからでした。そして一番悲しく、苦しかった事実は、子供たちが「社会的な貧困」に苦しんでいることでした。最下層の子供たち達は学校に行けません。有名な「タージマハール」という世界遺産のお城を出ると子供たちの「物乞い」が待っています（写真）。日本ではありえない事が旅の道中続くのです。子供にお金を差し出したら外国人を見ていたら、何十人の子供たちが押し寄せ、逃げるのがやつとでした。命が危ない光景でした。私は「人は助けあい・支えあい・励ましあう」という「福祉の心」を念頭に生きてきました：インドの現実の厳しさに「打ちのめ」されました。地獄とはこういう事だつたのではないか：自問自答を繰り返す旅となりました。インドは「簡単な気持ちで訪れる国」ではありませんでした。しかし「人生で迷った時はインドへ行け」と言われている理由が分かつた旅となりました。

インドの子供たち



綱渡りでお金を稼ぐ少年



タージマハール

一灯苑 きらきら 通信

令和6年度振り返り



勤続20年表彰



七夕



敬老会



文化祭



ひな祭り



坂本町唯一の高齢者施設 坂本の里 一灯苑

入居者募集中！！

見学申し込み・お問い合わせは、下記の担当者まで御連絡下さい。

特別養護老人ホーム 坂本の里 一灯苑

グループホーム しあわせの里

定員50 (入居者数46) **残り4室**

定員9 (入居者9)

〒869-6105

〒869-5172

八代市坂本町坂本1071

八代市二見町字門前924-2

0965-53-7277 (担当者:小川・村本)

0965-38-9191 (担当者:槙下・平田)